

テーマ「長井の心を育む」

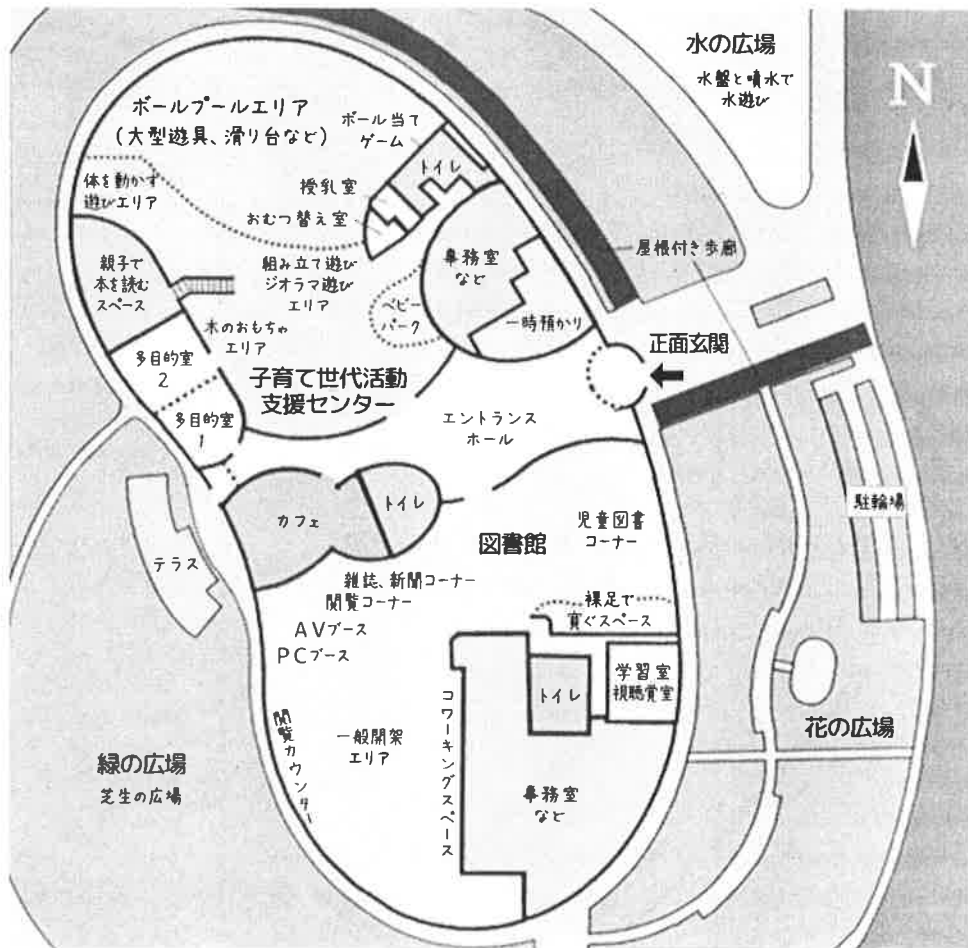
お茶の間交信



長井市遊びと学びの交流施設 (仮称) ってどんなところ？



長井市役所のすぐそばに建設が進められている「長井市遊びと学びの交流施設 (仮称)」。私たちの生活にも身近な屋内遊戯場を含む子育て世代活動支援センターと多機能型図書館の2つの機能を持つ複合施設ということで、期待と関心が高まっています。そこで、この施設について読者のみなさんから寄せられた疑問や編集委員の質問を、市の担当者に聞いてみました。



Q: 施設の中のレイアウトはどんなふうになっていますか？ そこではどんなことができますか？



A: 正面玄関を入るとエントランスホールで、右手(北側)が子育て世代活動支援センター、左手(南側)が図書館です。奥に進むと、カフェや多目的室1があり、西側の「緑の広場」にも出られます。

●子育て世代活動支援センター

子育て中の方々が、まちに出て交流したりお買い物をしたりするのを応援する施設で、乳幼児の一時預かり機能、子育てに関する相談機能、屋内遊戯場などがあります。

●図書館

児童図書コーナーには、お子さんが寝転がって本を読んだり、親子で一緒に本を読んだりできる場所を設けます。また、絵本の世界に集中できるような、ちょっと籠れるドームの設置など、小さなお子さんでも飽きずに楽しめる工夫を凝らします。子育て世代活動支援センターとの複合施設であることを活かし、館内の掲示板等で子育てに関する情報発信も行います。

「緑の広場」が見える窓際にはカウンターテーブル、アームチェアなど変化に富んだ閲覧席を並べ、奥に進むにつれて落ち着いた雰囲気の中で集中して本を読めるような空間とします。その他、集中して仕事や作業ができる仕切りのあるワークスペースや学習室兼視聴覚室も備えます。

カフェもありますので、ルールを決め、飲み物の持ち込みをできるようにする予定です。



Q: 屋内遊戯場のそれぞれの遊び場の対象年齢はどのようになっていますか?



A: 屋内遊戯場の対象は、乳児から小学生までを想定しています。入口近くには、乳児から2歳児ぐらいまでの子どもが遊べるベビパークを設け、その隣には、幼児向けの組み立て遊びやシオラマ遊びができるエリア、木のおもちゃエリアを設けます。横の階段を上がると、親子と一緒に本を読むスペースがあります。



体を動かす遊びエリアは5、6歳児から小学校低学年児童ぐらい、大型遊具、滑り台などもあるボールプールエリアは、壁に投写したデジタル映像にボールを投げて当てるゲームもあり、かなり動きのある遊びエリアなので、小学校高学年の児童を想定しています。なお、ボールプールエリアは広いので、この広さを活かし、小さなお子さんにも遊んでいただけるように工夫します。



Q: 子どもたちが声を出して元気に走り回れるところと、静かに過ごせる場所は分かれていますか?

A: 屋内遊戯場は、手前は“静”の遊びエリアで、奥が体を使って元気に遊ぶ“動”エリアです。

図書館は、声を出して走り回るといった訳にはいきませんが、子育て施設との接続や入りやすさを考え、手前が少し動きのあるエリア、奥が本に集中できる静かなエリアとします。子どもも大人も同じ空間で読書を楽しんでいただきたいので、エリアを壁などで仕切ることはせず、レイアウトなどの工夫により幅広い世代の方にとって居心地の良い空間をつくります。



Q: 図書館が南側なのですが本が日に焼けたりしませんか?



A: 軒を長く出して軒高を低くし、窓の配置も工夫することで、直射日光の侵入を軽減し、紫外線を70~80%カットする窓ガラスにします。館内は、ロールスクリーンで日差しを調整します。

明るさや空間の広がり、居心地の良さなどにも考慮し、本の劣化防止や適切な読書環境づくりにできる限り配慮します。

Q: たくさんの方が利用すると思いますが施設の防犯対策や衛生対策は大丈夫でしょうか?

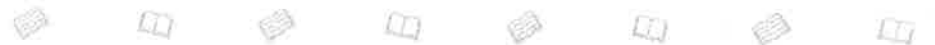


A: 施設内外において、要所に防犯カメラを設置します。屋内遊戯場にはスタッフも複数名配置して目を配り、ケガや事故などの心配がなく、安心して楽しく遊んでもらえるようにします。

ボールプールのボールは、高速洗浄除菌する専用の洗浄機を使って洗浄します。その他の遊具、施設内の除菌、清掃等をしっかり行い、衛生対策も万全にします。

Q: 子育てグループや親同士の学び、情報交換などのために借りることができる部屋はありますか?

A: 多目的室2は、飲み物やおやつなどの持ち込みも可とし、交流の場としてご自由にご利用いただきたいと思います。また、多目的室1と繋ぎ、一つの部屋としても利用できます。なお、多目的室の利用に関するルールづくりを現在進めているところです。





Q: 子育てのいろんな悩みや病気、しつけなどを専門職に相談できる場はありますか？

A: 子育て支援センター機能も設けますので、保育士など専門スタッフを配置し、ベビーパークで、お子さんを遊ばせながら子育ての不安や悩みなどを相談できるようにする予定です。



Q: 子どもの一時預かりや、短時間の預かり（美容院や通院、買い物などの時間に預かってくれるファミリーサポートセンターのような機能）はありますか？

A: 保護者の通院、冠婚葬祭、里帰り出産、リフレッシュなどのため、一時的に保育が必要なお子さんをお預かりする一時預かりを行います。

Q: 遠足などの団体利用は可能ですか？予約制ですか？有料ですか？

A: 利用日当日のスムーズなご案内ができるよう、事前にご連絡を頂戴した上でご利用いただくようにし、団体利用の場合でも無料にしたいと考えています。ただし、施設の利用に関するルールづくりを現在進めていますので、具体的な内容については、これから決めていきます。

回答内容は現時点での予定です。今後詳細を詰めていく過程で、関係団体等の皆さまとも協議しながら、どなたでも気軽に利用でき、施設のデザインモチーフである繭のように、訪れる皆さんを優しく包み込む施設づくりを進めてまいります。（令和4年2月現在）



今回の「長井市遊びと学びの交流施設（仮称）」についての質問には、長井市子育て推進課、地域づくり推進課、建設課より回答をいただきました。ありがとうございました。

料金受取人払郵便

長井局承認
473

差出有効期限
令和5年5月
31日まで

〒993-8790

長井市屋城町6番53号

長井市中央コミュニケーションセンター
お茶の間交信返信 行



9938790



～切手を貼らずに投函して下さい～

Fax (84) 5869や

メール chuou-k3@jan.ne.jp の返信もお待ちしております。施設内の「お茶の間交信ポスト」もご利用ください。

⇒お茶の間交信返信

●感想やとりあげてほしい内容など何でもお寄せください。

利用施設名・利用ひろば名 氏名 (匿名でも結構です)
【 】 【 】

Lined writing area for replies.

こんにちは!

伊佐沢児童センターで～す



伊佐沢児童センターは、自然豊かな環境にあり、食を育む環境にも恵まれています。

園の畑では、伊佐沢農協青年部さんに指導していただきながら夏野菜を植え、水やりや観察、収穫を体験しました。

秋には、種から育てた大根やかぶの収穫、近くのぶどう園さんでのぶどう狩りを体験し、子ども達の食への興味がさらに広がりました。

地域の方に協力していただきながら、子ども達が心身共に大きく成長していってほしいと思います。



～1年間ご愛読ありがとうございました～

【お茶の間交信編集委員】

中川 純子 (星の子保育園) 樋口 藍 (小桜幼稚園)
菊地 美紀 (西根児童センター) 土屋 清美 (やまがた育児サークルランド)
江袋 芳理 (豊田児童センター) 鈴木 亮子 (家庭的保育ルームひよっこ)
平吹 京子 (子育て支援サポートくらぶ、保健師)
梅津ひろみ・菊地久美 (長井市中央コミュニティセンター)

